

(3) 潮平地区

1) 地区の成り立ち

- ・潮平地区は、兼城村から昭和 36 年に糸満町となり、同 46 年から糸満市の字となった。
- ・潮平、兼城、阿波根西原の集落を含む地区であり、市街化の拡大が見込まれる。
- ・兼城は市の北部に位置し、南道は蛇行して西流する報得川を境として、照屋に接し、西は南北に通る水路を境に西崎町に接する。

【人口・世帯】

資料：国勢調査（R2 年）

【面 積】約 194ha
【世 帯 数】4,619 世帯
【人 口】11,934 人
【人口密度】約 83.5 人/ha

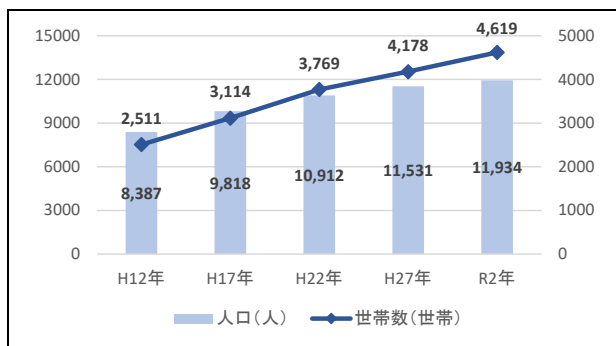
【人口の推移】

平成 12 年	8,387 人
平成 17 年	9,818 人
平成 22 年	10,912 人
平成 27 年	11,531 人
令和 2 年	11,934 人

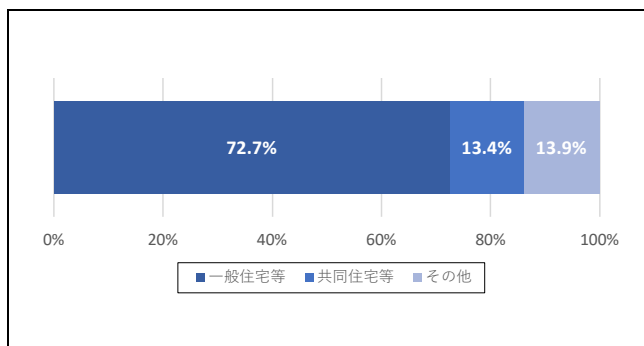
【人口増加率】

17.0%
11.1%
5.6%
3.4%

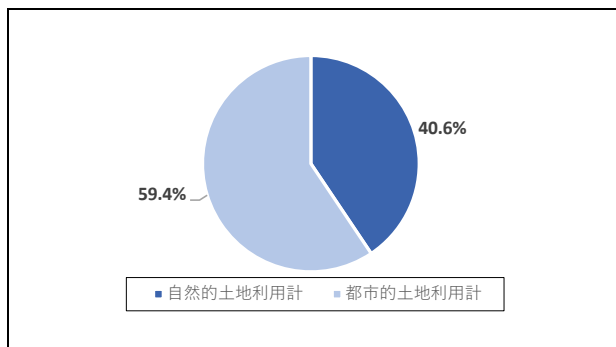
【人口・世帯数推移】 資料：国勢調査（H12～R2 年）



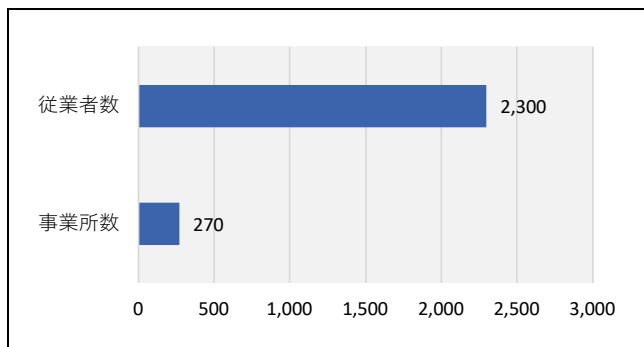
【建物】 資料：都市計画基礎調査（H28 年）



【土地利用】 資料：都市計画基礎調査（H28 年）



【事業所数】 資料：経済センサス（R3 年）



公共公益施設

小学校 1 校	高校 なし	集会場 4 施設	社会福祉施設 3 施設	文化体育施設 なし
中学校 1 校	その他学校 1 校	公園 5 カ所	行政施設 なし	その他 なし

地域の文化財など

国・県・市指定文化財	なし	埋蔵文化財	3 カ所	御嶽	3 カ所	その他	なし
------------	----	-------	------	----	------	-----	----

2) まちづくりのテーマ(将来像)

地形を活かした歴史と緑・潤いのあるまちづくり ～丘陵地の保全と平地の面整備～

<背景>

潮平地区は、県道豊見城糸満線（旧国道331号）沿いを中心に隣接する豊見城市から連担する進行市街地です。以前は、潮平・兼城の伝統集落を中心にした農村地域でしたが、都市化の進展に伴い、国道沿いや集落居住地区周辺での商業・住宅等の開発が進展しました。

国道沿いの平坦地は、元は干潟であることや急激な丘陵地の開発が行われたため、大雨時の冠水被害も目立つようになっています。

今後は、地区の立地基盤を踏まえ、市街地が進展している中で、湧水、石垣、屋敷林等が残る集落環境や、白川及び報得川、避難壕跡である潮平権現等の地域資源を活かした地区づくりが課題となっています。

3) 整備の方針

①生活基盤に関する方針

<市街地の拡大と整備>

阿波根地区と潮平地区の県道豊見城糸満線沿いに市街地が拡大しており、それを計画的に以下のように取り込むものとします。

- 良好な住環境の整備を図るため、地区計画の導入や市街化区域への編入等を見据え、基盤整備の検討を行います。

<沿道利用を活かした商業地区の形成>

県道豊見城糸満線（旧国道331号）沿いの沿道利用の発展を今後も持続させるような整備を促進します。

②地域資源の保全・整備、快適性の向上に関する方針

<斜面緑地の保全と活用>

この地域は平地と丘陵からなり、市街地の外郭となる緑地と位置づけて保全と活用を図ります。

- 見晴らしの良さを活かした公園整備を推進します(見晴らし公園)。さらに自然体験ポイントの整備やこれらをつなぐ遊歩道の整備を併せて推進します。

＜集落環境の保全（潮平）＞

潮平地区本来の集落環境を活かした整備を促進します。

- 集落内に昔からあるカーの保全、活用、広場の整備を促進します。（白川、マーチュ小広場、ウィーシラカー 等）
- 潮平の住民を守った避難壕などがあり、それらに関する調査及び概要板の整備を図ります。（壕の調査、概要板設置保存）
- 住宅建設や交通環境の改善に向けたスージ小の課題解決を推進します。
- 地滑り指定区域においては状況を注視しながら、引き続き災害防止に努めます。

＜集落環境の保全（兼城）＞

兼城地区本来の集落としての環境を活かした整備を促進します。

- 伝統的な集落、道などの保全、活用を促進します。（石垣、屋敷林、ナカミチの整備、活用）
- 集落の縁辺部、谷地などに広がる緑地、農地、カーなどの整備、活用を促進します。（総合公園、グスク等の整備、活用）
- 住宅建設や交通環境の改善に向けたスージ小の課題解決を推進します。
- 地滑り指定区域においては状況を注視しながら、引き続き災害防止に努めます。

③道路、その他の整備に関する方針

＜報得川の活用、整備＞

谷地を流れる報得川の周辺はみどりが豊富であり、河川浄化とともに公園的な整備を促進します。

- 報得川については、市民の利用を想定し、谷地の緑地と一体的な公園的な整備を促進します。
- 西崎の上流としての水質の浄化、清流化、上部からの赤土等の流出の防止を図ります。

＜生活幹線としての集落間道路の整備＞

- 集落間での道路のネットワーク形成を促進します。

＜住宅地内道路の整備＞

- 通学路としての安全な歩行空間の確保を促進します。
- 通過交通に関する対策の検討を行います。

地域別構想図：潮平地区

